

蒲池の年表

時代	西暦	おもなできごと
弥生		弥生式土器(西蒲池弥生遺跡・本校所蔵)(西蒲池・本村) 弥生時代の貝塚(三島神社貝塚遺跡)
奈良	713	道君首名(みちのきみおびとな)が筑後守(ちくごのかみ)となり、条里制(堀やため池)をとる。
平安	10世紀	和名抄に「かまち」の名前がみえる。 「下妻郡に鹿待郷あり、鹿待は加萬知(かまち)と訓み、或いは三潞郡の蒲池村なりと伝えり」
	939	藤原純友の弟純乗が蒲池に砦をつくる、と伝える。
	1125	三島神社(西蒲池)が建てられる。
	1126	長壽院(東蒲池・鹿島)が建てられる。
鎌倉	1190頃	源久直が源平の戦いで手柄をたて、鎌倉幕府の御家人となり、蒲池庄の地頭職になる。
	1281	元寇で松浦蒲池氏が北条時宗から感状を受けたと伝えられる。
	1314	蒲池氏(余一入道)が歴史に初めて登場する。
室町	1339	この頃、崇久寺(東蒲池)が建てられる。
南北朝	1370	蒲池城の記録が見える。
	1394	蒲池久憲が蒲池城を広げる。
	~1503	この頃、豪族蒲池治久が蒲池城支城を築く。(現在の日吉神社付近)
安土桃山	1587	立花宗茂、蒲池城に小野和泉守をおき、城番とする。
江戸	1603	この頃、田中吉政が久留米・柳川間に「柳川往還 (田中道)」をつくる。(今の県道 23 号)
	1604	田中吉政が、家永彦三郎方親を「筑後国 土器司役」(土器の役人)として招き、蒲池焼がはじまる。
	1608	東照寺(立石)の銅製鰐口(わにぐち)に「田中吉政の三男の病氣回復を願ったもの」とある。
	1615	三嶋神社の鳥居に元和元年の記録がある。
	1620	立花宗茂、南筑三郡十一万石を領する。蒲池地区の内、立石村や金納村は久留米領に、矢加部村は両藩に分けられる。
	1692	出島オランダ商館のケンペル、柳川から久留米往還をたどる。(ケンペル江戸参府紀行)

	1722	蒲池豊庵が『蒲池物語』を書く。蒲池氏の由来や事跡を著したもの。
	1812	伊能忠敬、蒲生村下田町、金納村、矢加部村を通過して柳川村に入る。(伊能忠敬測量日記)
	1825	藩校伝習館、開校する。
明治	1871	廃藩置県により立花藩は柳川県となる。同年、柳川・三池・久留米県を合併し三潁県となる。
昭和	1931	国鉄佐賀線、矢部川駅→筑後柳川駅間開通
	1938	西鉄大牟田線・蒲池駅が営業始める。
	1953	大洪水で蒲池でも床上浸水
	1955	三潁郡蒲池村が、昭代村とともに柳川市となる。
	1966	蒲池農協有線放送はじまる。
	1987	国鉄佐賀線廃止
平成	1994	県営住宅・蒲池団地ができる。
	1997	蒲池水辺公園で堀干し祭が行われる。
	2005	市営住宅・立石蒲池団地ができる。 三橋町・大和町と合併して、新「柳川市」が誕生する。